

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【公表番号】特表2014-506323(P2014-506323A)

【公表日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-013

【出願番号】特願2013-545314(P2013-545314)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/49 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/49 A

G 0 1 N 33/49 X

G 0 1 N 33/48 P

C 1 2 Q 1/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 9】

本発明に従う検出方法において実行される決定ステップa)、b)及びc)は、上述のように、プラスモジウム感染の存在に対し予測性を持っている。本発明の文脈における用語「低い」値は、個々の場合に実行された決定の値が正常な患者サンプル(すなわち感染していない患者サンプル)において得られた標準値に比較して低い値を意味する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 2】

【図1】図1は、本発明に従う方法を実施するための通流式細胞測定装置1を図式によって示す。

【図2】図2は、赤血球11に基き、細胞の顆粒性及び密度に関係し5°~15°の特徴的な範囲で測定される大きい角度の散乱光を図式によって示す。これは細胞密度に決定に相当する。

【図3】図3は、小さい角度の散乱光範囲(2°~3°)における細胞11の細胞体積(ないし細胞の大きさ)の決定を示す。

【図4】図4は、機器ADVIA2120iによって実施された散乱光ダイヤグラムを示し、マラリアに感染した血液サンプルにおける、血小板及び多形核の白血球(PMN)に対する体積16及び密度17の模範的な変位を示す。

【図5】図5は、機器ADVIA2120iによるペルオキシダーゼ染色後の分析の結果を示し、マラリアに感染したサンプル24と正常なサンプル25との間の体積及び密度の分布(PEROX Y 26ないしPEROX X 27)を模範的に表わす。「PEROX Y」26はY軸に沿ったペルオキシダーゼ陰性の集団の幅を示す。この幅は、マラリア

サンプルにおいては正常なサンプルに比較して長く現れる。マラリアサンプル 24に対する結果は、正常なサンプル 25より拡散しているように見られ、このことは体積分布 26及び密度分布 27がより大きいことに帰せられる。